

平成29年度 消費者教育推進フォーラムin北海道

「消費者が主役の社会を目指して～新たな取組から未来づくりへ～」をテーマに、消費者一人一人の行動が社会に与える影響及び消費者教育・啓発の在り方について、消費者団体、消費者行政と教育機関との連携を考えることで、消費者市民社会、持続可能な社会の構築を目指すことを目的として開催。

- ◇日 時 平成29年12月2日(土曜日)12時30分～16時00分
- ◇会 場 ホテルポールスター札幌2階大ホール(札幌市中央区北4条西6丁目)
- ◇主 催 消費者教育推進フォーラム実行委員会、消費者庁、文部科学省
- ◇後 援 北海道教育委員会
- ◇協 力 社会的責任に関する円卓会議
- ◇参加者 教員、教育委員会、消費者行政、起業・団体等から150名の参加

取組報告

- 『札幌市が取り組む子供の安全・安心に関する取組』
鳥井美奈子氏(札幌市市民文化局市民生活部消費生活課長)
- 『学校現場が取り組む消費者教育の実戦』
「未来を創り出す豊かな心と確かな実践を育む家庭科教育」
渡邊奈穂子氏(函館市立青柳小学校教諭)
安達聡子氏(北海道教育大学附属函館小学校教諭)
- 『大学と企業が連携したエンカル消費の実践』
「札幌のフェアトレードタウンに向けた取組」
橋長真紀子氏(札幌学院大学准教授)
佐藤来紀氏(札幌学院大学2年生)
小田大夢氏(札幌学院大学2年生)
中田大夢氏(札幌学院大学2年生)
- 『大学と地域が連携した消費者教育の取組事例』
「エゾシカの地産地消モデルを通じた消費者教育」
土岐圭佑氏(北海道教育大学釧路校講師)
堀口純平氏(北海道教育大学釧路校3年生)
佐々木恒氏(北海道教育大学釧路校3年生)
- 『私たちが選択するエネルギー』
小林ユミ氏(NPO法人北海道グリーンファンド事務局次長)

意見交換

各団体、学校、行政機関の消費者教育の特色ある取組の、ノウハウや知見をどのように活用していくのかについて、参加者と登壇者で意見交換。

【コーディネーター】
西村隆男氏(横浜国立大学名誉教授)



展示交流タイム

「社会的責任に関する円卓会議」の協力を得て、様々な起業や団体等消費者教育を実施する民間企業NPO等の作成した教材、資料等を紹介。

株式会社日清製粉グループ本社、ビザ・ワールドワイド、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)、独立行政法人国民生活センター、全国大学生生活協同組合連合会、第一生命保険株式会社、北海道立消費生活センター、公益社団法人札幌消費者協会、NPO法人北海道NPOサポートセンター、NPO法人北海道グリーンファンド、NPO法人Kacotam、認定NPO法人消費者支援ネット北海道、北海道労働金庫、消費者庁、文部科学省、金融広報中央委員会・北海道金融広報委員会、株式会社LIXIL、一般社団法人日本ヒーブ協議会、日本労働組合総連合会、サッポロビール株式会社、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会、公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局、株式会社ウエノフードテクノ、公益財団法人消費者教育支援センター、千葉県消費生活相談員の会、サステナビリティ消費者会議、一般社団法人日本自動車工業会、トヨタ自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社、日本弁護士連合会、公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)、特定非営利活動法人ACE、公益財団法人生命保険文化センター、一般社団法人生命保険協会、札幌市、コープさっぽろ、一般社団法人日本損害保険協会、公益社団法人全国消費生活相談員協会北海道事務所(順不同)【39企業・団体が参加】

